



THE JAPANESE SCHOOL in LONDON

# ロンドン日本人学校だより 3

学校教育目標

自ら学び、心豊かにたくましく国際  
社会を生きぬく児童生徒の育成

合い言葉：自立・貢献

2020(令和2)年

月2日発行 ロンドン日本人学校  
令和元年度 第11号

## 「正解無き問題に向き合う」-卒業生に贈る

校長 石山 秀樹

中国・湖北省武漢で昨年末から広まった新型コロナウイルス(Covid-19)による感染症は、この原稿を書いている時点でも毎日新たな感染の広がりが報道されている状況にあります。このヨーロッパでも北イタリアで多くの感染者が発生し、いくつもの町が感染防止のために封鎖されたという報道がありました。

本校では、英国政府の指針に基づき、「ここ14日以内に日本をはじめとする東アジア・東南アジアの一部を訪れた」かつ「咳・熱・呼吸困難感 いずれかの症状がある」場合には「自宅待機（出席停止）」とし、「111」で NHS に連絡し、指示や診療を受けるようお願いをしているところです。

今後、状況が変化するなどの理由により英国政府の指針が変更された場合には、これに応じて本校での対応も変更する可能性があります。日本では3月2日から全国の小学校・中学校・高校を臨時休校とする要請が政府より出されました。本校でも新型コロナウイルスの感染が確認された場合には、臨時休校等の措置を含めた急な対応をとる場合があります。その際には、緊急一斉メールや公式ブログでお知らせをしておりますので、御承知おきください。

なお、学校では現在、発熱や風邪のような症状による欠席等が増えている状況にはありません。引き続き手洗い等の励行により感染症の防止に努め、子どもたちの健康状態を注視してまいります。御家庭でも、食事や十分な睡眠による抵抗力の維持のほか、風邪のような症状がみられる場合には、感染防止のみならず、本人のためにもゆっくり休ませる等の対応をお願いします。

さて、改元から始まった今年度も間もなく終わりを迎え、また新たな春を迎える時期となります。一つ上の学年へと進級する児童生徒、小学校から中学校へと進学する児童ももちろん、この1年の

成長を振り返り、新たな思いで4月を迎えることでしょう。しかし特に、日本の義務教育を修了し自ら選択した新たな進路先へと向かう中学3年生に対しては、その一步を応援したい気持ちが私には強くあります。その皆さんへ私から、「正解無き問題に向き合う」お話を贈りたいと思います。

皆さんはここまで、学校で数多くの「問題」に取り組み、正解を求めて努力してきたことと思います。「問題には必ず正解がある」「正解のある問題を誰かが示してくれる」これまでのテストのほとんどはそうでした。

しかしこの先、特に皆さんが社会に出たときに直面する「問題」は、そうではありません。先に述べた新型コロナウイルス対応の「正解」は今のところありません。例えば今年度ニュースとなった地球温暖化対策の問題、香港の大規模デモの問題、英国のBrexitの問題では、何が「正解」なのでしょう。皆さんがこれから歩もうとする進路（人生）でも、右か左かどちらかを選ばねばならないとき、「正解」はあるのでしょうか。

すぐに手に入る「正解」が欲しい人、誰かが分かりやすく提示してくれる「正解がある問題」を期待する人は、他に流され、他からの指示がなければ何をすべきかわからない、という「指示待ち人間」になりかねません。しかし、私たち、そしてこれから生きる皆さんが目指すべきは、AIやロボット、オンライン化に淘汰される可能性の高い「指示待ち人間」ではありません。身に付けた考える力や判断する力を活かし、身の回りや社会、仕事の中から問題を発見し、情報を基に徹底的に考え、正解かどうか不明確でも、より望ましいと判断できる答えを自分で用意し、責任ある行動ができる人間です。

このロンドン日本人学校を巣立つ卒業生諸君が、人生の問題、社会の問題など「正解無き問題」にひるむことなく向き合い、勇気ある一步を踏み出せるよう応援しています。